

くすのき小学校だより

四條畷市立くすのき小学校 校長 花岡 純



学校HPの二次元コード



運動会の取組をととして

- ①一人ひとりがいきいきと参加し、みんなが楽しめる
- ②学年や異学年の集団意識を高める
- ③努力を認め合える



この3つのことを目標に、運動会に向けて、この1ヶ月取り組んできました。みんなと一緒に参加する、後ろから参加する、自分のことから参加する、一人ひとり違いがあってもいいと思います。少しでも頑張ろうとした、頑張ろうと思ったことを認めていき、自信につなげていく運動会になればと思います。

練習途中で、別の学年の団体演技を見合うことができました。子ども同士が見合うことでいい緊張感が生まれ、踊りきった後の表情、拍手をもらった時の顔が清々しく、達成感のある表情がたくさんみられる時間になりました。お互いの頑張りを認め合いながら学年集団が1つのものに向かって取り組んでいく楽しさ（写真は、3年生が踊りきった後の「ドヤ」顔です）を知ることができたと思います。



高学年の係活動は、学校のリーダーとして、運動会の運営に子どもたちが関わっていきます。担当の先生と異学年の仲間と一緒に活動するなか、真剣な表情、どこか嬉しい気持ちをもった様子をたくさん見つけることができました。



明日の運動会は、いい天気の中、開催できそうです。保護者の皆様には、飲み物の準備、体操服の洗濯、そして、子どもたちへの励まし等たくさんご協力をいただいたと思います。ありがとうございました。明日、たくさんの声援をお願いします。

いいところを認め合って

児童会活動で、「くすのき小自慢 ベスト10」に取り組みました。うれしかったのは、「友だちが優しい」と感じている人がたくさんいたことです。また、学級活動でも、いいところを見つけてカードに書いて掲示をしたり、好きなものを書いて隣の人に紹介したりしています。「友だちに自分のことを知ってもらえて嬉しい」「共感できる」と学級で話す様子がみられました。

学校教育目標の「お互いを認め合える力」を身につけていくために、子どもたち同士で、好きなことや得意なことを知る、頑張っているところ、苦手に思っているところを認め合う。ありのままを受け止めて、どう関わっていくかを考える力をつけていってほしいと思います。

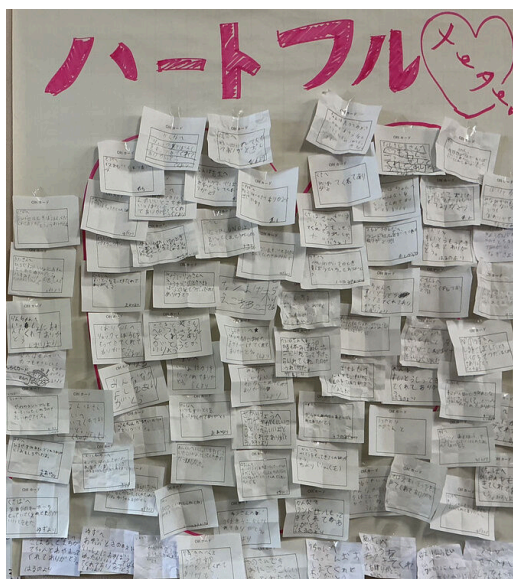
はっぴょう！わたしたちのがっこうベスト10！
みんなでみつけたがっこうの「いいところ」

くすのき小の自慢 ベスト10

順位	項目	票数
1	友だちが優しい	87
2	雰囲気が良い・明るい	44
3	運動場が広い	42
4	元気	37
5	先生が優しい	29
6	授業がたのしい	25
7	遊具がある	17
8	給食	14
9	あいさつ	11
10	めりはり	7

これからもすてきなところをもっともっとふやしていこうね！

令和8年度 代表委員



やってみたいことがある

休み時間に学校の中を回ってみると、子どもたちが自分のやりたいことに楽しんでいる様子を見かけます。本を読むのが好きな人は図書室で、一輪車に乗りたい人は運動場へ、絵を描くのが好きな人は教室で、楽器を演奏したい人は音楽室へ。思い思いに好きなことに夢中になれる様子を見ると微笑ましく思います。

先日、音楽室にいくと、ピアノ、キーボード、木琴に分かれて演奏している子がいました。照れくさそうにしながらも、楽器を弾けるようになった嬉しさもあり、とても楽しそうでした。

めざす学校像の「やってみたいことがある学校」。学んだことやできるようになったことを、「好き」が同じ人と一緒にやれる様子がたくさんあって、嬉しい気持ちになりました。

使い方を考えよう

市教育委員会から、スマホ視聴時間に関する資料をいただいています。学校から帰宅して就寝までに4時間以上視聴している人の割合が小学校6年生で33%でした。便利に使ったり、楽しんだりすることもできますが、視力低下、睡眠不足、スマホ依存、個人情報やいじめ、課金等のネットトラブル、個人情報の扱い等多くの心配事もあります。

使用を子ども任せにせずに、時間、場所、使い方、使用制限等家庭で話し合い、約束を守りながらより良い使い方を考えてほしいと思います。

